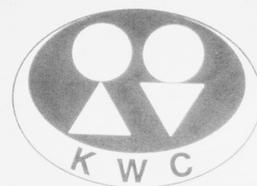


表通り裏通り

# 女と男がともに いきる社会へ

## 女性団体連絡協議会結成10年を祝って



K-Kawagoe  
W=Women's  
C=Conference



平成10年に設立された川越市女性団体連絡協議会が、10周年を迎えました。市内で活動している女性団体が協力しあい、あらゆる分野で女性が活躍できる社会づくりを目指す同協議会。現在34団体が加入し、活動が行われています。

昨年12月に行われた「イーブンライフin川越」で、同協議会の歩みを映像で紹介。スクリーンに映っているのは、同協議会のシンボルマーク



写真上・「イーブンライフin川越」では加盟団体の紹介の展示も行われました  
写真中・ふれあいフェスティバルの様子。加盟団体が手話による歌を発表  
写真下・広報部会が作る広報紙「かがやき」。公民館・図書館・女性会館などに置いています

昨年十二月に行われた、「イーブンライフin川越」で、講演に先立ち同協議会のこれまでの歩みを映像で振り返りました。およそ二十分、その時々々の社会状況を交え、同協議会の皆さん手作りの映像が映し出されました。同協議会は、「女性も男性も住みやすい社会の実現を目指し、あらゆる分野からの女性団体・グループの参加を」という声から誕生しました。加入している団体は、ボランティア活動・演劇・朗読・日本舞踊・茶道など、多くの分野にわたっています。活動の柱は、各団体の交流を促進するための「交流」、会員の資質向上を目指す「学習」、年に二回発行している広報紙「かがやき」などの作成を行う「広報」の三つの部会です。加入した団体は、このうち、どこかに属することになっています。

また、同協議会の活動を広く、市民の皆さんに知ってもらうため、夏休みに親子向けの「映画会」や加入している団体の発表の場である「ふれあいフェスティバル」などを開催してきました。また、同協議会設立の翌年から毎年、市と共催で「イーブンライフin川越」を行っています。同協議会の岩崎君子会長（宮元町）は、「会長になって二年ですが、設立からこの協議会にかかわっています。多くの人たちとの出会いが会を発展させてきました。今後は、川越市男女共同参画基本計画について勉強し、女性の声を社会へ反映させるために、行政と共に努力していきたいです」と話していました。

市内に活動拠点があり、会員が五人以上（うち女性の割合が六割以上）という加入条件がある同協議会。もつと多くの団体に活動の趣旨を理解してもらい、加入団体を増やしたいと考えています。そして、男女共同参画社会の形成について、多くの市民の皆さんに関心を持ってもらい、住みよい川越になることを目指して活動に取り組む同協議会です。

## 1年のスタートをマラソンで

1月1日、およそ5.5キロ、福原地区を走る、第32回福原地区元旦マラソン大会が行われました。4歳から72歳まで141人のランナーが、ここの初マラソンに挑戦しました。ここのは、先頭の選手が20分ほど、141人目のランナーは1時間5分でゴール。参加した皆さん全員が、無事に完走しました。ゴールの福原小学校では、地元の野菜を使った豚汁がふるまわれ、疲れた体をいやしてくれました。



新春の陽光を浴びて、いざスタート!



ゴールまであと少し

## かるたを通して川越を知る

1月6日、仙波町1丁目自治会で、かるた大会が行われました。同自治会では、地域で子どもたちを育てていく取り組みを行っていて、子ども・親・高齢者の3世代が交流するための場として開催されました。「かわごえ郷土カルタ」を使い、参加した子どもたちは札が読まれると、絵札を真剣なまなざしで探し、見つけると「はい!」という声と同時に絵札に手が伸び、取ったあとにニッコリ。同自治会では、来年以降も行っていく、町内の皆さんが一体となった、かるたの会を作りたいと考えているそうです。



「はい!」ほくが取ったよ!



同自治会内の老人会・仙波町の皆さんが運営に協力



中央保育園で演奏を行うリオ・アンディイノの皆さん

「聴いている人たちの笑顔が励みになります。フォルクローレの魅力を多くの人たちに知ってもらうことが目標です」と長谷川美代子さん（かすみ野の1丁目）。

リオ・アンディイノは、南米の民族音楽であるフォルクローレの演奏をしているグループです。十四年前、大東公民館で南米の笛・ケーナの演奏を学んだ仲間を中心に結成されました。現在使っている楽器は、管楽器・弦楽器・打楽器など十種類以上あります。これらは、衣装と共に、フォルクローレの本場・ポリビアへ行き、購入してきた物です。また現地では、生のフォルクローレに触れ、自分たちの演奏上達に役立てています。ボランティアとして保育園・高齢者施設・イベントなどで年間約三十回の演奏と、毎年十一月にコンサートを行っています。取材に伺った日は、中央保育園での演奏。曲目が進むうちに、子どもたちも音楽に合わせて体を動かしています。その様子を見て、リオ・アンディイノの皆さんは演奏をしながら、自然と顔がほころんでいました。

かわごえ  
越  
び  
と  
42